凡例

一、本書は次の方針によって編纂した。

(1)文献史料は正確なる公文書、私文書を主軸とし、中央史実との関連に努めて叙述する。

(2)本書は通史として全巻六編に分ち各主題を内容とする骨骼記事にとゞめ、具体的細部の集録は後日の編輯に譲る。従って必ずしも全巻の体裁整備に拘泥せぬ。

(3)文中氏名の敬称を省略し、行文は平易を旨とすべきも、内容の性質上強いて書きくずし、或は修飾的言辞を用いず、編者主観の混入をつとめて避けた。

(4)漢字及び仮名遣いは当用に拘わらず適宜とし、また漢字熟語には時に振り仮名をつけ特に漢体引用文の多くは和読記号及び振仮名をつけ解読の便をはかり、かつ原文は成るべくそのまゝとした。

(5)本書は新居浜市史編纂に関する初めての試みで未だ完璧に至らず、他日史料の充実を俟って増補改訂を期待する。

一、本書の題字は小野市長の筆である。

一、本書の編纂に関する業務は、市長公室企画課がこれに当った。

昭和三十七年十一月三日

編纂主任　明比貢

目次

第一編　藩制以前の新居浜

新居浜文化の曙光 …… 一
一、縄文式土器使用の頃 …… 一
二、弥生式土器を使った頃 …… 二
三、墳墓を築造した頃 …… 四
四、歴史時代（律令時代）の遺跡 …… 五
新居浜上代史 …… 六
一、神野郡の貴族 …… 六
二、郡・郷の編制とその地域 …… 七
三、新居郷の成立と新居浜の地名 …… 八
四、郡名の改称と伝説 …… 九
五、伊予太政官道と新居駅 …… 一〇
六、条、里、坪、反、歩 …… 一二
七、烽燧の設置と燧灘の語原 …… 一五
八、法隆寺領と東大寺領 …… 一六
新立の庄園と新居浜 …… 一八

一、新居庄と西条庄……一八
二、鎌倉・室町における後期庄園……二〇
新居庄の土豪……三一
一、新居氏……三一
二、金子氏……三六
三、松木氏……三九
四、宇高氏……四一
五、藤田氏……四二
吉野室町戦史……四三
一、南北両軍の消長と道前の形勢……四三
二、河野・細川の抗争……四九
三、室町時代における新居・宇摩の領主と地頭関係……五五
瀬戸内海々賊と和冦……六三
一、瀬戸内の海賊……六三
二、和冦……六八
天正陣……七一
一、天正陣解題……七一
二、戦争発端……七一
三、石川軍の戦闘準備……七三
四、石川軍の兵力……七四
五、毛利軍の伊予渡海準備……七六
六、小早川・吉川の進軍……七七
七、高尾城合戦……七八
八、二郡の平定……八一
九、天正陣異聞……八三

第二編　藩制時代の新居浜

藩制前期の新居浜……九〇
一、時勢概観……九〇
二、小早川隆景、福島正則と新居浜……九一
三、加藤、藤堂の領知関係……九三
四、渡辺勘兵衛の采地萩生村……九五
五、その後の領主……九七
藩政時代の新居浜……九八
一、西条一柳藩……九八
二、小松一柳藩……一〇三

三、西条松平藩……一〇六
四、幕　領……一二三
藩の財源と農民の作徳……一二四
一、藩の基本財源……一二四
二、地主の作徳……一三五
西条藩政の消長と新居浜……一三九
一、展　望……一三九
二、享保飢饉……一四〇
三、西条藩の財政難……一四三
四、改　革……一四五
五、百姓一揆……一四七
六、復　興……一五五
幕末維新の政情と新居浜……一五八
一、西条藩論と頼英の入国……一五八
二、頼英の海岸巡視……一五九
三、頼英攘夷の朝命をうく……一六〇
四、小松藩論と頼紹上京……一六二
五、沢宣嘉と新居浜……一六三

六、長州征伐と新居浜……一七〇
七、維新の騒擾……一七三

第三編　近代政治の実相

明治初期の行政区画とその機関……一七六
一、藩県の廃合とその真意……一七六
二、行政区の改正……一七八
三、郡区町村編成法の施行……一八四
村々の生たち……一八八
市制実施……一九六
一、三町村合併……一九六
二、新生新居浜市の出発……二〇七
三、行政事務機構……二〇九
市域の拡大と人口……二一三
一、川東四ケ村編入（第一次）……二一三
二、上部四ケ町村編入（第二次）……二二四
三、角野町編入（第三次）……二四〇
四、人　口……二五二

市の行政機関と実態……二六一
市議会……二六一
一、市会議員一般選挙と市会……二六一
二、市会事務機構と市会記録……二七七
三、市の主なる令規……二七八
市の財政……二八二
消防……二八九
一、新居浜消防組……二八九
二、新居浜警防団……二九〇
三、新居浜消防団……二九一
四、町村消防団の統合……二九三
五、消防用水利施設……二九六
六、火災の情況……二九六
治安……二九八
一、藩制下の治安……二九八
二、新居浜警察署の沿革……三〇〇
三、新居浜警察官内におきた主なる事件……三〇四
衛生……三〇七

一、江戸時代の衛生……三〇七
二、維新後における衛生諸問題……三一〇
三、衛生現況……三一四
委員会及び委員……三二〇
一、教育委員会……三二〇
二、選挙管理委員会……三二二
三、公平委員会……三二二
四、公安委員会……三二三
五、監査委員……三二三
六、固定資産評価審査委員会……三二五
七、農業委員会……三二五
公営企業……三二七
一、市営バス事業……三二七
二、水道事業……三三〇
社会福祉事業……三三三
一、沿革概要……三三三
二、事業の概要……三三五
教育……三四二

一、学校教育……三四二
二、社会教育……三七九
官公署……三九七
大東亜戦争……四二〇
一、戦争の概要……四二〇
二、銃後の諸団体……四二一
三、銃後の対空措置……四二二
四、銃後奉公の実態……四二三
五、疎開……四二四
六、戦時の耐乏生活……四二五
七、終戦……四二七
八、公職追放と富の再分配……四二八
九、庶民生活の実態……四三〇
一〇、風俗の変化……四三二
一一、労働組合……四三三
坑水煙害問題……四三五
一、坑内水問題……四三五
二、煙害問題の発端……四三七
三、惣開製錬所煙害交渉問題……四三八
四、煙害防止命令と除外対策……四四〇
五、四阪島煙害問題……四四四
六、東新一一ケ町村の連合会脱退事情……四五二
七、煙害賠償金及寄附金の管理ならびに処分……四五九
政党と議会人……四六二
一、政党の発足……四六二
二、初期の議会人と政党……四六三
三、明治三〇年前後の政党と議会……四六五
四、明治四〇年前後の政党人と議会……四六七
五、大正の県議と政党……四六九
六、戦後の政党と議会人……四七三
近世十名士……四七八

第四編　産業

農業　(1)農地制度の変遷……五〇〇
一、氏族社会から班田時代までの農地制度……五〇〇
二、庄園時代の農地制度……五〇二

三、室町大名時代の農地制度……五〇四
四、太閤検地後の農地制度……五〇六
五、明治維新以降の農地制度……五一二
農業　(2)営農の変遷……五二二
一、古代の農業状態……五二二
二、藩政時代の農民政策……五二三
三、営農の実態……五二四
四、米麦以外の農作物……五三四
五、農家の副業……五三七
六、農業団体と組合……五三九
七、農地委員会と農業委員会……五四二
農業　(3)新居浜水利史……五四五
一、大　観……五四五
二、川水の利用状況……五四六
三、池水と井水の利用状況……五四九
四、高柳泉の利用……五五三
五、吉岡泉の利用……五五五
林　業……五五七
一、林制の沿革……五五七
二、藩政時代の営林……五五九
三、入　会　山……五六五
四、銅山付山……五七一
五、維新以降の営林概況……五七四
六、公有林の整理と植林……五七六
七、森林組合の結成と官行造林……五七八
八、住友林業……五八二
漁　業……五八三
一、沿岸漁場……五八三
二、網代運上……五八九
三、出　漁……五九〇
四、加　子　役……五九三
五、塩辛製造……五九四
六、魚座と魚の販売……五九五
七、漁　船……五九六
八、養　殖……五九七
塩　業……六〇〇
一、前期塩浜……六〇〇

二、多喜浜塩田……六〇一
三、多喜浜塩業会社……六一六
鉱工業……六一八
一、概説……六一八
二、別子銅山……六二〇
三、住友関係各種工業……六四五
四、市内各種工業……六五一
商業……六五九
一、新居浜商業の大観……六五九
二、回船・商船……六六〇
三、船宿と船問屋……六六二
四、市場……六六六
五、新居浜地区の商業圏……六六八
六、西条藩商法の諸問題……六七〇
七、藩札通用時代の商売……六七一
八、明治維新以降の商業……六七三
九、市内商業の現況……六七六
一〇、商工会議所……六七九

金融……六八二
一、貨幣の鋳造とその流通……六八二
二、藩札発行とその流通……六八七
三、幕末維新の調達献金……六九三
四、庶民金融……六九六
五、維新以降の通貨と金融……七〇一

第五編　交通通信

江戸以前の交通運輸……七〇九
一、往古の陸上交通……七〇九
二、往古の海上交通……七一四
三、江戸時代の街道と往来規則……七一六
四、御朱印道中……七一八
五、江戸時代新居浜地方の往来状況……七二六
六、往来手形……七三〇
七、江戸時代の海運……七三三
八、海難事件……七四〇
明治以降の交通運輸……七四八
一、道路の改修……七四八

二、交通運輸機関の発達……七五二
三、鉄　道……七六〇
四、新居浜港の沿革……七六五
五、新居浜大築港……七六七
六、港務局……七七二
七、港湾関係官公署……七七六
八、港　勢……七七八
通信通話……七八一
一、むかしの通信機関……七八一
二、明治以降の通信……七八三
三、電　話……七八九

第六編　文化編

神社（神道）……七九二
一、神社起源……七九二
二、神社古制度……七九三
三、維新以後の神社……七九八
四、教派神道……八一〇
五、キリスト教……八一一
寺院（仏教）……八一三
一、仏教の弘通……八一三
二、制度の変遷……八一七
三、市内寺院、堂庵、廃寺……八二〇
新居浜俳諧史……八二五
一、俳諧の誕生……八二五
二、寛政・享和の俳壇……八二六
三、文化・文政の俳壇……八二八
四、天保・弘化の俳壇……八三一
五、幕末の俳壇……八三六
六、二名会……八四〇
民俗　㈠制度の変遷と生活様式……八四五
一、江戸時代の制度と生活様式……八四五
二、社会組織動揺時代の風習……八五六
三、明治以後の制度と生活様式……八六四
民俗　㈡冠婚葬祭……八七一
一、婚　姻……八七一

二、出　産……八七五
三、戸　籍……八七六
四、祝　賀……八七七
五、死　亡……八七八
民俗　㈢年中行事……八七九
民俗　㈣娯楽遊技……八九〇
一、武家社会の遊技……八九〇
二、江戸時代の民衆娯楽……八九三
三、近代の娯楽遊技……八九五
文化財……八九八
一、地形・地質・岩石……八九八
二、植　物……九〇二
三、古　墳……九〇四
四、古城址……九〇九
五、民　謡……九一三